

おわりに

この 20 年あまりチェルノブイリ事故に関わって多くのことを学んできたが、私にとっては次の 3 つが大きな教訓となっている。

- ▶ 原発で大事故がおきると、まわりの村や町がなくなり、地域社会が消滅する。
- ▶ 放射線被曝は、チェルノブイリがもたらした被害全体の一部に過ぎない。
- ▶ 専門家的アプローチで明らかにできることは、チェルノブイリという災厄の一側面でしかない。

最後に、チェルノブイリ周辺立入禁止区域と大阪・東京、セシウム 137 汚染地域と浜岡原発を中心とする 600km 圏を比較し、本報告を読んで頂いた方々の想像力を改めて刺激しておきたい。

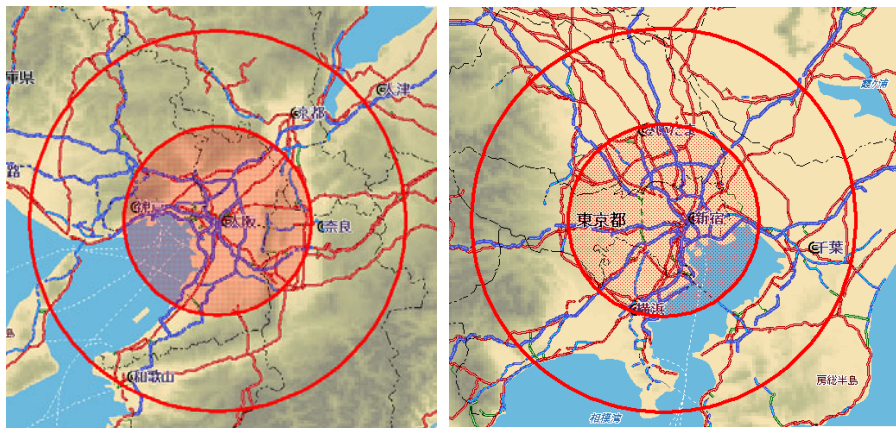
2007 年 3 月 今中哲二



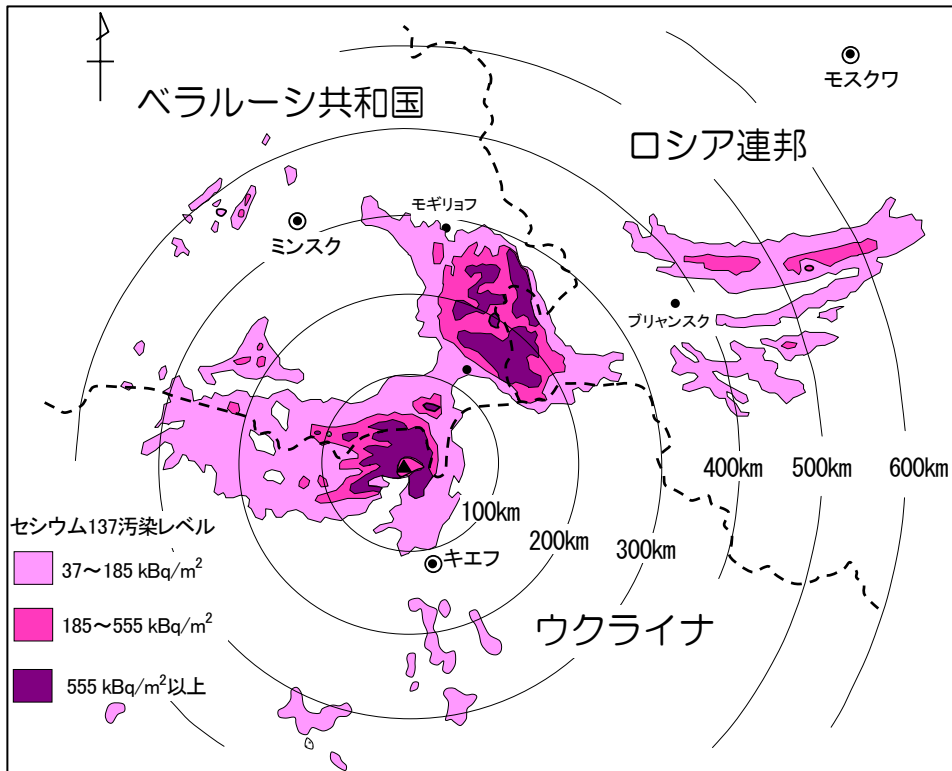
チェルノブイリ原発周辺立入禁止区域(通称 ゾーン)

2つの円は内側が半径 30km で外側が 60km. ゾーンの面積は約 3700 平方 km (ウクライナ側 2000、ベラルーシ側 1700). 事故直後にゾーン内住民約 12 万人の強制避難が実施された。

ナショナル・ジオグラフィック(2006.4)を参考に作成. 写真は Google earth より.



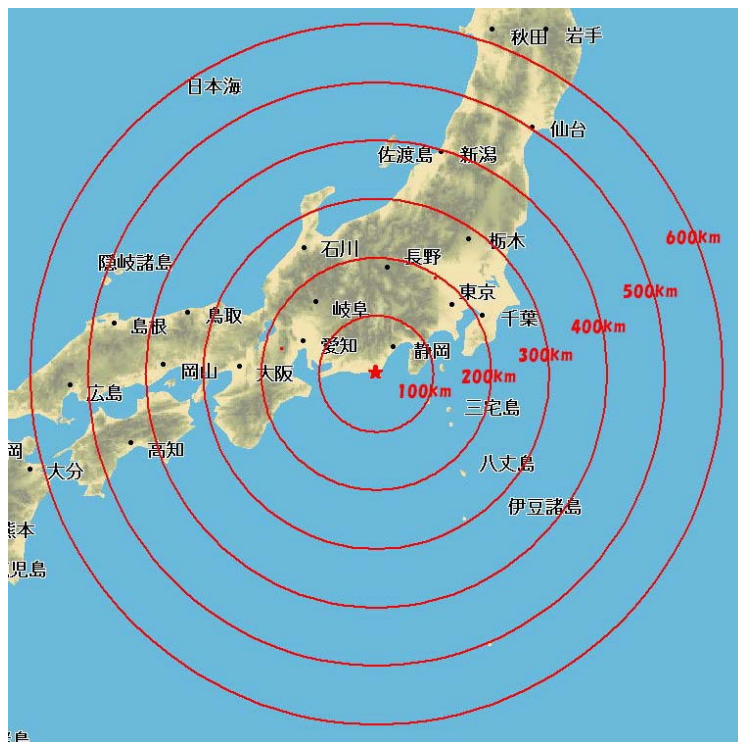
大阪(左)と東京(右)での 30km 円と 60km 円. 中心位置は大阪府庁と東京都庁.



チェルノブイリ原発周辺 600km 圏のセシウム 137 汚染

「チェルノブイリ原発事故による放射能汚染地図」(放射能汚染食品測定室、1990) を基に作成。

- 事故から3年たって、チェルノブイリ原発から数 100km 離れたところにも、飛び地のように放射能高汚染地域の広がっていることが明らかになった。
- 被災3カ国の法令では、セシウム 137 汚染密度 1 平方m 当り 37 キロベクレル以上が汚染地域、555 キロベクレル以上は移住対象地域とされ、それぞれの面積は 14.5 万平方 km と約 1 万平方 km であった。
- 14.5 万平方 km は本州 (22.7 万平方 km) の 64%、1 万平方 km は、福井県 (4200)、京都府 (4600)、大阪府 (1900) を合わせた面積に相当している。



浜岡原発を中心とする半径 600km 圏。